

徳島大学インフラ長寿命化計画(個別施設計画) 要約版

施設・環境委員会承認20200306
役員会承認20200311



全体構成

徳島大学インフラ長寿命化計画(個別施設計画)本編

1. 長寿命化の背景、目的等	3	(2)中長期的な修繕・改修計画の策定におけるコストの平準化等の考え方	33
(1)背景	3	(3)基幹整備のBCP(事業継続計画)の考え方	33
(2)目的	4	9. 施設修繕計画(各部位別)	34
(3)計画期間	4	(1)各部位の目標使用年数	34
(4)対象施設	4	(2)維持・修繕・更新・改修コストについて	34
2. 予算等の構成	5	10. 資料 別冊	
(1)施設整備及び維持管理に関する予算構成1	5~6	・インフラ長寿命化5か年計画【A】性能維持+機能向上改修経費	
(2)施設整備及び維持管理に関する予算構成2	7~8	・インフラ長寿命化5か年計画【B】性能維持改修経費	
3. 徳島大学の施設の長寿命化に向けた基本的な考え方	9~10	・インフラ長寿命化5か年計画【C】修繕費【D】点検保守・運転監視費	
4. 施設の長寿命化に向けた基本的な考え方【施設のトリアージ】	11~12	・施設修繕計画(防水) 表-1	
5. サステナブルな仕組みの構築	13	・施設修繕計画(外壁) 表-2	
(1)施設情報の把握・分析・活用	13	・施設修繕計画(空調) 表-3	
(2)好循環システムの構築	14	・施設修繕計画(EV) 表-4	
(3)長寿命化にむけた実施体制の充実	14	・施設修繕計画(給排水(トイレ)) 表-5	
6. 個別施設の長寿命化に向けた基本的なライフサイクル	15	・施設修繕計画(照明) 表-6	
サイクル		・施設修繕計画(内装) 表-7	
(1)適切な維持管理	15~16	インフラ長寿命化計画(個別施設計画)全体表	
(2)計画的な施設整備	15~16	・インフラ長寿命化計画(個別施設計画)従来型全体表-1	
7. 今後の維持・更新コストの把握	17	・インフラ長寿命化計画(個別施設計画)(補助金含む)(平準化なし) 全体表-2	
(1)今後の維持管理・更新リスト(長寿命化)イメージ図	17	・インフラ長寿命化計画(個別施設計画)(補助金含む)(平準化) 全体表-3	
(2)今後の維持管理・更新リスト(従来型)	18	・インフラ長寿命化計画(個別施設計画)(補助金なし)(平準化なし) 全体表-4	
(3)平準化した長寿命化の更新コスト比較 大規模改修費(補助金等)	19~20	・インフラ長寿命化計画(個別施設計画)(補助金なし)(平準化) 全体表-5	
(4)平準化した長寿命化の更新コスト比較 性能維持改修費 修繕費 点検保守・運転監視費(学内経費)	21~22		
8. インフラ長寿命化計画(個別施設計画)策定に際しての考え方	23		
(1)各部位の劣化状況評価基準の設定	23~24		
①劣化状況評価基準の考え方	23~24		
②劣化状況評価(防水、外壁、設備)	25~32		

■ :エッセンス

長寿命化の背景、目的等 (本編P3・P4)

(1)背景 (本編P3)

平成25年11月、「インフラ長寿命化基本計画」が策定され、中長期的な維持管理・更新に係るトータルコストの縮減・予算の平準化を図る方向性が打ち出された。これを踏まえインフラ管理者が個別施設ごとの具体的な対応方針を定める計画として、「長寿命化計画(個別施設計画)」を策定することが求められている。

徳島大学は「インフラ長寿命化計画(個別施設計画)」の策定により、施設整備や維持管理に係わる、トータルコストの縮減や予算の平準化を図るとともに、戦略的な施設マネジメントと併せた老朽化対策により保有資産の魅力を高め、持続可能で活力ある未来の実現に貢献する。

(2)目的 (本編P4)

徳島大学インフラ長寿命化計画(個別施設計画)では大学施設が高度化・多様化する教育及び人材育成、先端的な学術研究、高度先端医療の提供など徳島大学が果たすべき役割を担う重要な基盤であり、これらを適切に維持するために必要な修繕・改修・改築等の年次計画を立案し、厳しい財政状況のなか、将来にわたり必要なインフラ機能を発揮し続けるために、トータルコストの縮減やコストの平準化を図り、良好で安心・安全なキャンパス環境を維持することを目的として策定する。さらに修繕・改修・改築の計画の策定では省エネルギー、省資源及び、環境負荷の削減の観点や光熱水費等の経常的経費の削減等の面から検討する。

(3)計画期間 (本編P4)

計画期間は、施設の更新周期や目標耐用年数までの維持保全等、長期的な視点による計画の策定が重要であることから、2019年度から2068年度までの50年間とし、本計画書については5年程度毎を目安に見直すものとする。

(4)対象施設 (本編P4)

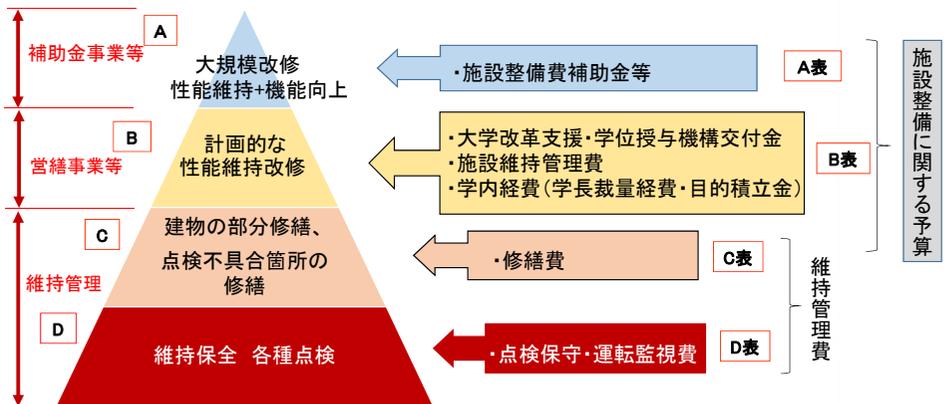
対象施設は、プレハブ建物以外の全ての施設とする。

主な対象施設

分野	対象施設
建物	(大学等)実験棟、研究棟、講義棟、実習棟 等
(附帯設備含む)	(共用施設)図書館、福利施設、課外活動施設、事務棟 等
	(宿舍等)学生宿舎、職員宿舎、宿泊施設 等
	(体育施設)体育館 等
	(機械室等)維持管理センター 等
	(病院本院)外来棟、診療棟 等
土木構造物等	グラウンド、道路、駐車場、駐輪場、緑地、共同溝、等
基幹設備	受変電設備、自家発電設備、構内電話交換設備、屋外電力・通信線、屋外上下水道・ガス管 等

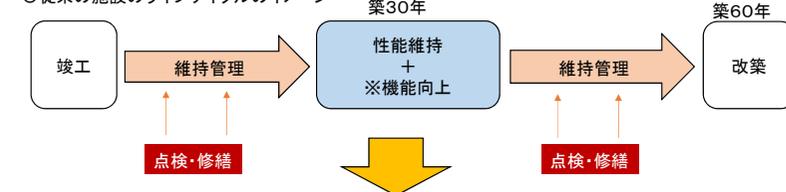
※病院本院は別途計画に基づく

予算等の構成 (本編P5~P8)

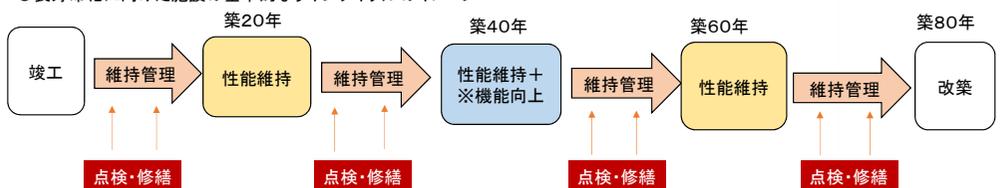


個別施設の長寿命化に向けた基本的なライフサイクル (本編P15・P16)

○従来の施設のライフサイクルのイメージ



○長寿命化に向けた施設の基本的なライフサイクルのイメージ

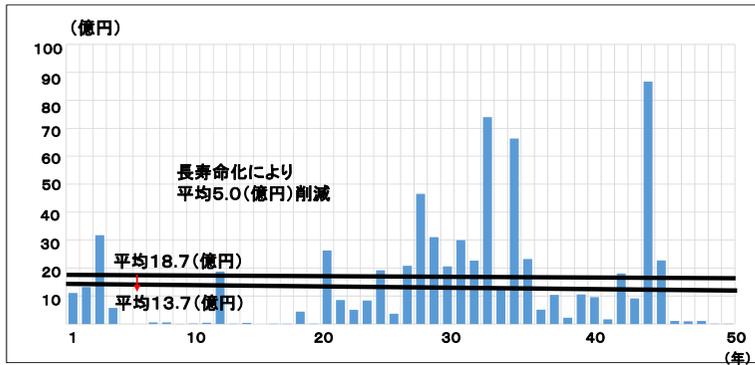


※機能向上改修:教育研究ニーズ等を踏まえ適宜実施

今後の維持・更新コストの把握 (本編P17~P22)

平準化した長寿命化の更新コスト比較 大規模改修費 (補助金等) (本編P19・P20)

(予算A:大規模改修費)



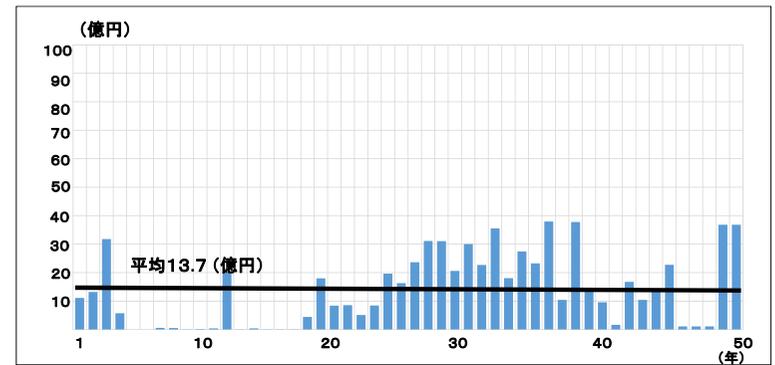
長寿命化の更新コスト(補助金等)

維持保全対策を
確実に実施

施設の状態を把握
(長寿命化カルテ)

平準化
予算

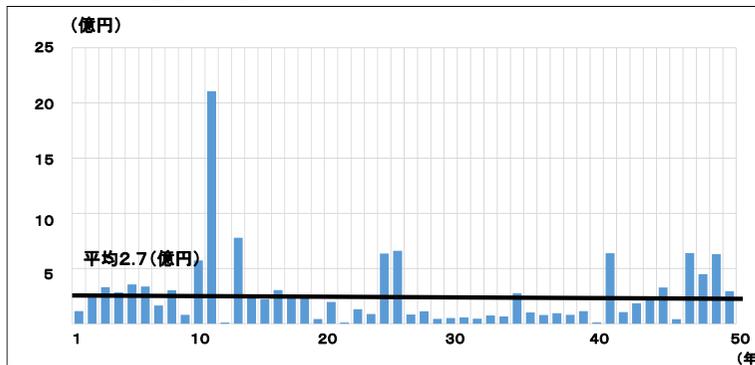
(予算A:大規模改修費)



平準化した長寿命化の更新コスト(補助金等)

平準化した長寿命化の更新コスト比較 性能維持改修費 修繕費 点検保守・運転監視費
(学内経費) (本編P21・P22)

(予算B:性能維持改修費)

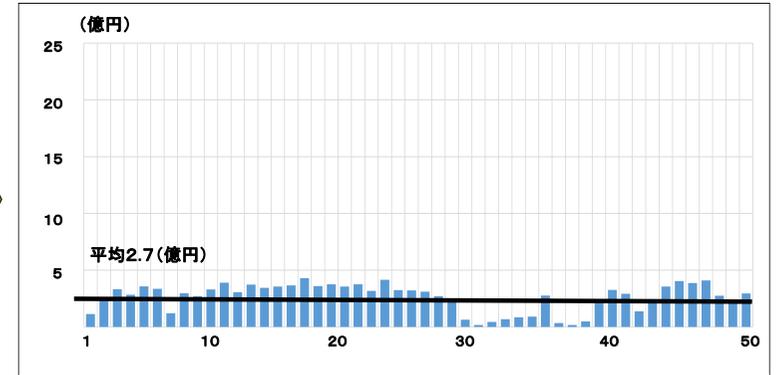


維持保全対策を
確実に実施

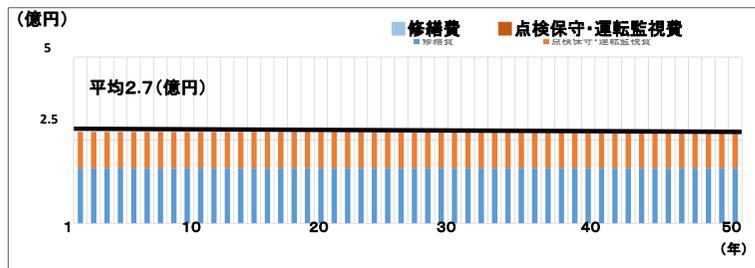
施設の状態を把握
(長寿命化カルテ)

平準化
予算

(予算B:性能維持改修費)

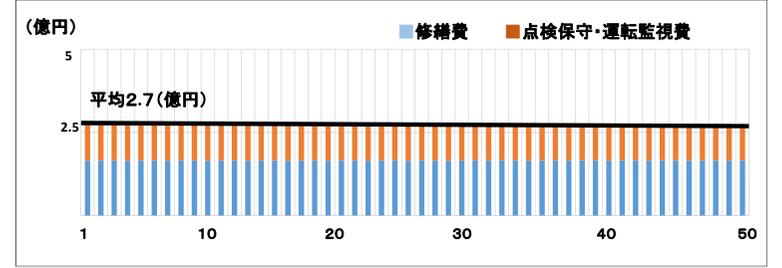


(予算C:修繕費)+(予算D:点検保守・運転監視費)



長寿命化の更新コスト(学内経費)

(予算C:修繕費)+(予算D:点検保守・運転監視費)



平準化した長寿命化の更新コスト(学内経費)